



立憲民主党  
 岩手県総支部連合会  
 〒020-0022  
 盛岡市大通三丁目1番24号  
 第三菱和ビル5F  
 TEL.019-625-7852  
 FAX.019-625-7855

# りっけん いわて 県連通信

2022.2.2号

さあ、力を合わせて。

## 「新型コロナ感染急拡大～支援求める声広がる～」

新型コロナウイルス感染症は、岩手県内でも急拡大している。連日3桁を超える陽性確認となり、各方面に影響が広がっている。特に教育保育施設での感染が目立ち、休校・休園措置が相次いでいる。こうした状況を受けて、県連災害・緊急事態局長の木戸口英司参議院議員は26日、教育現場出身の小西和子副代表(県議会議員)からオンラインでヒアリングを行った。小西副代表は「学校現場への人員配置が間に合わず、対応に苦慮している。」「消毒液など衛生用品の調達に予算的な不安が出ている」など、現場から寄せられた声を紹介。政府与党のコロナ対策では小規模校などへの適切なサポート体制が取られていないなどの課題を指摘しました。これに対し、木戸口参議院議員も「早急に対応する必要がある。休業支援策なども含めて、支援が行き届くよう強く働きかけていく」と述べ、コロナ感染の拡大防止に全力を挙げる姿勢を示した。



学校現場の状況についてヒアリングする木戸口参議院議員 1月26日

← 各種支援策は  
 こちらから



## 「農業農村がつぶれる～水田交付金の見直しで、国への怒り爆発～」

政府与党が昨年末に突然打ち出した水田交付金の見直しを巡って、農業者の反発が広がっている。これまで、奥州市、平泉町、一関市などあわせて7か所で、木戸口参議院議員や横沢参議院議員や立憲民主党所属の県議らが農政懇談会を開催しているが、今回の見直しは米価の下落とあわせ「農業と農村にとどめを刺しかねない大問題。このままでは農業は続けられない」「いまこそ、令和の百姓一揆をして、国の誤りを正さなければならない」との声が相次いだ。この問題については、今後特集を組んで詳細をお伝えする。



奥州市江刺での農政懇談会 1月9日

※ 県連活動通信を始めました。Webのみならず、FAXなどでもご覧いただけます。FAXでの購読をご希望の方はお近くの立憲民主党議員団へお知らせください。また、ご意見もお待ちしております。